

赤ちゃんは
あなたの声を

聞くことが

できるでしょうか



あなたの赤ちゃんは
聴覚スクリーニングに
パス（合格）しました

ニューヨーク州保険局
(New York State Department of Health)

聴覚スクリーニング

赤ちゃんはパス（合格）しました

あなたの赤ちゃんは、両耳の聴覚スクリーニングに合格しました。使用されたスクリーニングは、耳音響放射（Otoacoustic Emissions、OAE）もしくは聴性脳幹反応（Auditory Brainstem Responses、ABR）、またはその両方です。

赤ちゃんの名前

は、下記の日付に両耳の新生児聴覚スクリーニングにパス（合格）しました

日付

スクリーニング方法 ☐ OAE ☐ ABR



赤ちゃんの聴力を検査した方法

訓練を受けた担当者があなたの赤ちゃんの聴力を検査しました。次のいずれかの可能性があります。

- 赤ちゃんの耳に小さなマイクロホンを装着した（OAE）。
- 赤ちゃんは特殊なイヤホンを装着して、額に小さなパッドが設置された（ABR）。

その後、小さな音を流して赤ちゃんの聴覚を測定しました。

スクリーニングの結果、赤ちゃんは**現在**聞こえている可能性が非常に高いことが示されました。ただし、これはあなたの赤ちゃんがまったく難聴にならないことを意味するわけではありません。新生児聴覚スクリーニングにパス（合格）した赤ちゃんのうち、少数の赤ちゃんがその後難聴になる可能性があります。赤ちゃんの聴覚に注意を払う必要があるのはそのためです。

私の赤ちゃんの聴覚を検査したのはなぜですか？

聴覚は非常に重要です。赤ちゃんは、話す方法や取り巻く環境について学ぶために音を聞く必要があります。言語または学業の遅れにつながる問題を防ぐために、生後数か月間の聴力は非常に重要です。ニューヨーク州で生まれた赤ちゃん全員に聴覚検査を実施しているのはそのためです。

難聴の原因となるものは？

難聴の原因はわからない場合もありますが、以下が原因となることもあります。

- 遺伝性の難聴
- 耳の感染症
- 髄膜炎
- その他の重篤な感染症

質問や心配な点がある場合は、赤ちゃんの担当医またはクリニックに相談してください。



お子さんの聴覚と話す言葉を確認しましょう

赤ちゃんがスクリーニングにパス（合格）しても、頻繁に赤ちゃんの聴覚を確認することが重要です。次のチェックリスト*は、赤ちゃんの成長とともに聴覚を追跡する際にお役にてください。正常な聴覚は、赤ちゃんがチェックリストに記載されていることするのに役立ちます。お子さんの聴覚について心配な点がある場合は、月齢・年齢にかかわらず、赤ちゃんの担当医またはクリニックに相談してください。

正常な聴覚のチェックリスト*

出生～3か月

- 日常的な声や音の近くで静かになる
- 大きな音に反応する：びくっとする、まばたきをする、授乳時に飲むのを止める、泣く、眠りから目覚める
- 覚醒時に小さな音を立てる：喉を鳴らす

3～6か月

- 音の方へ眼や頭を向けて動かす：声、音がするおもちゃ、犬の鳴き声
- 話すような声を作り始める：「ガー」、「ウー」、「バー」や、p、b、mの音
- あなたの声のトーンの変化に反応する

6～9か月

- 小さな音、特に話し声に反応する
- 自分の名前に反応する、特に呼ばれたときにこちらを見る
- 単純な言葉を理解する：「だめ」、「バイバイ」、「ジュース」
- 片言で話す：「パパ」、「ママ」、「ババ」

9～12か月

- 小さな音と大きな音の両方に一貫して反応する
- 単一の言葉を繰り返し、動物の鳴き声をまねする
- 好きなおもちゃや食べ物について尋ねられると、それを指さす

*カリフォルニア州保健局（California Department of Health Services）のチェックリストから引用。

12～18か月

- ・10以上の言葉を使う
- ・単純な言葉での指示に従う：「ボールを取ってきて」
- ・人、体の部位、おもちゃについて尋ねられると、それを指さす
- ・音楽に合わせて「とび跳ねる」

18～24か月

- ・20以上の言葉を使う
- ・2つ以上の言葉を組み合わせる：「ジュース、もっと」、「これ、ななに」
- ・言葉の始めで異なる多くの子音を使用する：b、g、mの子音
- ・単純な物語や歌を聞こうとする

2～3歳

- ・2～3個の言葉から成る文を使用する
- ・2歳では、子どもが話す言葉は一部の場合（25～50%）理解される
- ・3歳では、子どもが話す言葉はほとんどの場合（50～75%）理解される
- ・2段階の指示に従う：「ボールを取ってきて、箱に入れてください」

**お子さんの聴覚はどの年齢でも
検査でき、また検査すべきです。**





赤ちゃんのために 役立つ情報

赤ちゃんに難聴がある場合、または難聴の可能性がある場合、さらに支援を受ける必要があります。新生児、特別な支援が必要な幼児、およびこれらのお子さんのご家族は、ニューヨーク州保険局の早期介入プログラム（Early Intervention Program、EIP）から支援を受けることができます。EIPは聴覚スクリーニングと検査を提供し、あなた、あなたの赤ちゃん、ご家族を支援します。詳細については、あなたの医師、クリニック、またはお住いの郡もしくは区のEIPまでお問い合わせください。

新生児聴覚スクリーニング、またはEIPについての詳細は、以下までお電話ください。

(518) 473-7016

または、早期介入プログラムのウェブサイト을以下からご覧ください。

health.ny.gov/community/infants_children/early_intervention/

地域のEIPに直接連絡するには、以下までお電話ください。

**Growing Up Healthy 24-Hour Hotline
(Growing Up Healthy 24時間ホットライン)**

1-800-522-5006

TTY : 1-800-655-1789

ニューヨーク市内 : 311

赤ちゃんは
あなたの声を

聞くことが
できるでしょうか？

あなたの赤ちゃんがニューヨーク州の病院で生まれた場合は、疑問に思う必要はありません。ニューヨーク州で生まれた赤ちゃんは全員、聴覚検査を受けます。

下記から当機関をフォローすることができます：

health.ny.gov

facebook.com/NYSDOH

twitter.com/HealthNYGov

youtube.com/NYSDOH



Department
of Health